



付知南小学校で付知の未来を考える
東京大学次世代交通地域教育プログラムの授業を行います

付知南小学校の6年生児童が、東京大学次世代交通地域教育プログラムの一環として、付知で行われている次世代交通研究について学んだことを通して、学校運営協議会委員の方と市制100周年を迎える30年後の未来の付知を考える授業を行います。

■日 時 令和4年11月30日（水） 13時35分～14時20分

■場 所 中津川市立付知南小学校 家庭科室（中津川市付知町10890番地）

■参加者

児 童：6年生27人
講 師：東京大学特任研究員 中尾 俊介（なかお しゅんすけ）氏
担 任：原 将之（はら まさゆき）
学校運営協議会委員：11人

■活動内容

13：35 ～13：40 授業の内容説明
13：40 ～14：05 グループ討議
14：05 ～14：20 全体交流

- ・グループ討議では、児童が考えた30年後の付知の姿を交流する中で、地域の大人（学校運営協議会委員）の意見を聞き、今、自分たちにできることを考えます。

■その他

- ・中津川市と国立大学法人東京大学（大学院工学系研究科社会基盤学専攻交通・都市・国土学研究室）は、超高速交通網と接続する分散型拠点の設計と地域の持続的在り方に関する共同研究を進めるため、協定を締結しています。
- ・本授業は、東京大学次世代交通研究プロジェクトの一環として行う教育プログラムです。11月28日（月）に、現在付知町にて行われている実証実験や次世代交通研究についての講義を受けた上で、付知の未来を考える活動を行います。

学 校 長：上出 武則（かみで たけのり）
全校児童：141人

お問い合わせ先

付知南小学校 担当者：教頭 遠山
電話：0573-82-3073